

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内(〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 岡田 俊明
電話(03)3581-3678
FAX(03)3507-0886
振替口座 00140-2-68514

“税務の職場”
何でも110番
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

全国税ホームページ
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

申告件数・来署者の大幅な増加、三度目となる日曜開庁・出勤、昼休み「対応」のための勤務時間割り振り強行、立ちっ放しの巡回指導方式押しつけ、そして申告書全件入力の拙速な移行で処理手順等が大幅に変わる17年分確定申告事務。「すべての職員が主体的に取り組み挙署一体体制」(職員全員が「担当」であり「応援事務」ではない)で今年の確申期をなんとか乗り切ろうとするが、「予測不能」「何が起きるか分からない」確申期に突入した。

手探りの事務量計算
計画策定も右往左往
「手探りで事務量を見積もった」「職員が一人でも欠けると破算になる計画」と研修の場で心情を吐露する個人1統括
年金税制改正、消費税

の免税点引下げで申告・相談件数はどれくらい増えるのか? KSK全件入力移行に要する事務量の増は? 申告件数増に伴う収受事務・開封作業量はどうなるの? 等々、まさに手探り状態で自信が持てない計画と職員配置は全署で共通している。とりわけ申告書の全件入力事務量見積りはズサンそのもの。
検証結果も開示されない形だけの試行で処理手順を一挙に全国化する。こうした拙速な変更が現場に新たな混乱をもたら



さなにか危惧される。1・5倍に増えた入力事務を1・3倍の職員と2倍の非常勤職員を動員して処理(昨年試行のA署)しているにもかかわらず、今年移行するある署の計画は1・7倍(7

わずか54人日」となっており、こうしたズサンな計画が連日長時間の残業や深夜残業を激増させる要因となることは必至で、早急な見直しを求めるられている。

.....
困るという納税者のニーズを踏まえ、開庁日対応を引き続き実施...業務は指導、収受、用紙配布及び納付相談とする」と三年連続した試行を現場に押付けている。

その中で、「週休日振り替えを行うことにより平日の業務に支障をきたす者は、原則割り振らない」ように指示しているが、日曜出勤・週休日振り替え体制そのものが、近接した平日業務に大きな支障をきたしていることは明白だ。

「予測不能」確申期に突入

一人の病人・死亡者も出してはならない

「親切な助言、丁寧な対応」+「職員の健康」
= 座った対面方式

「親切な助言、丁寧な対応」+「職員の健康」
= 座った対面方式

「指導」を「助言」と言い換え、接触時間をさらに短縮させようという動きもある。表向きには「親切・丁寧」、実際は「突き放せ」と指示する二枚舌の当局に、職員は「どつやれというのだ」と怒っている。

「現場で不平の「割り振り」
「当番制でスッキリと現場を混乱させ不評をかってているのが、勤務時間割振りによる昼休みの対応」。対応人員の一定の見直しはしたものの、今年も「昼休みの電話相談、収受、用紙配布に対応できるよう割り振れ」と枠ハメしている。

13日は12時30分までテレホン担当、13時15分から審査、14日は通常勤務で相談、15日は11時45分まで審査、12時30分からテレホン.....
刻々と変わる勤務時間と分擔、こんな状態で「昼休みの勤務時間管理の徹底を図る」ことは至難の業で、超勤拾いもれも常態化してくる。確定期も含め、現場の知恵で定着した「当番制」に戻した方が、ハッキリ、スッキリする。

「平日だけの対応では困るといふ納税者のニーズ」にこたえる基本を、庁HP・作成コーナーの「大々的なPRと機能拡充、電話相談体制の充実におくべきだ。」
日曜開庁は庁の明らかに「試行的に実施」として

公表された16年分の相談件数は166千件(前年199千件)だが、このうち「平日は税務署に行くことができない」納税者は半数以下にとどまっているのが実態だ。

「平日だけの対応では困るといふ納税者のニーズ」にこたえる基本を、庁HP・作成コーナーの「大々的なPRと機能拡充、電話相談体制の充実におくべきだ。」

いのちと健康を守る 統一行動



「親切な助言、丁寧な対応」+「職員の健康」
= 座った対面方式
財務省が公表した「自書申告の推進」では、「申告相談に来られる納税者に親切に助言し、円滑に申告・納税していただけるよう努めた」となっている。

「親切な助言、丁寧な対応」+「職員の健康」
= 座った対面方式
重し、忙しさにまかせず、面倒くさがらず、相手からのサイン(顔色・声色)を受けとめよ、という。ところが、庁・局幹部の指示はまったく逆。「申告会場は『記載場所の提供』であり、申告指導は『不明な点についてアドバイスするワンポイント指導』だ」「職員は立つたまま、手のあがった納税者にワンポイント指導しろ。ヒモ付きになるな。受け持ち範囲を作るな。すぐ離れる。たえず移動せよ。」と職員にやり方を押しつける。

「親切な助言、丁寧な対応」+「職員の健康」
= 座った対面方式
職員健康対策では「交替制と休憩用イスの配置」しか示せないのだから、なおさらだ。
「親切な指導と、立ちっ放しで肩越し・中腰姿勢を強要するハードな労働を防ぐためにも、座った対面方式を基本にした

現場を混乱させ不評をかってているのが、勤務時間割振りによる昼休みの対応」。対応人員の一定の見直しはしたものの、今年も「昼休みの電話相談、収受、用紙配布に対応できるよう割り振れ」と枠ハメしている。

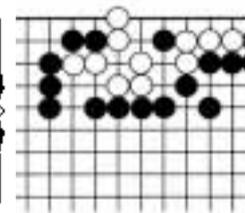
「平日だけの対応では困るといふ納税者のニーズ」にこたえる基本を、庁HP・作成コーナーの「大々的なPRと機能拡充、電話相談体制の充実におくべきだ。」
日曜開庁は庁の明らかに「試行的に実施」として

公表された16年分の相談件数は166千件(前年199千件)だが、このうち「平日は税務署に行くことができない」納税者は半数以下にとどまっているのが実態だ。

「平日だけの対応では困るといふ納税者のニーズ」にこたえる基本を、庁HP・作成コーナーの「大々的なPRと機能拡充、電話相談体制の充実におくべきだ。」

「平日だけの対応では困るといふ納税者のニーズ」にこたえる基本を、庁HP・作成コーナーの「大々的なPRと機能拡充、電話相談体制の充実におくべきだ。」

詰碁
出題 九段 石樽郁郎
黒先
ヒント
黒は石を捨てて白の眼形を奪います。
(7分初、二段以上)



05年暮れは、マンシヨン耐震強度偽装問題でゆれ、雪国では、地震の前に大雪に耐えられるかどうかと考えているうちに観測史上始まって以来の大雪となっている。今年に入って、耐震強度偽装の揺れも収まらないうちに「堀江容疑者逮捕」のニュースが日本を駆け巡った。彼の言葉を借りれば「想定外」だったのだらう。「偽装」「粉飾」、夢の入ったドラエモンのポケットと違って、ホリエモンのポケットには人をだます材料が、耐震強度偽装、ライブドア事件で問われているのは今の政権与党が進めてきた「規制緩和」路線である。これらの事件は「官から民へ」の規制緩和万能論を見直すことを求めているのではないだろうか。

目からウロコが...

刺激いっぱい！の講演に共感！

税研全国集会に240名参加

第45回税研全国集会は「本格化する庶民大増税を斬る」国民本位の税財政・税務行政をめざしてをテーマに、1月13日から3日間、滋賀県大津市で開かれ、全国から240名が参加して熱心な研究と討論が行われた。



集会は3日間、参加者の熱気につつまれた

行った。

大事な視点に共感

岡田知弘・京都大学大学院経済学部研究科教授は「地域からの日本経済再建の展望」と題し、地域社会の荒廃の実態、地域内再投資力と自治体の取組み、新たな視点での日本経済再生への戦略等について講演。グローバル化による国民不在の経済運営に対して、大雪被害に見舞われた長野県・栄村の実績も紹介しながら人が生活する地域から日本経済を再生する展望を示し、参加者から「目からウロコが落ちた。地域で実践してみたい」と強い共感が寄せられた。

分科会で活発討論

2日目は三つの分科会が行われた。税制一般分科会は、給与所得控除は

人事院、拘束延長の「枠組み」示す

1月17日、人事院は拘束時間延長の「枠組み」を組合に提示してきた。職場の怒りをそらすのが、時短はせず、拘束時



要請に応える佐々木憲昭議員

国会議員と懇談

仕事・処遇の改善を要請

全国税は1月17日、税務職員が抱える問題について日本共産党の佐々木憲昭衆議院議員と懇談し、国政レベルでも取り上げて解決してほしいと要請した。

要請した項目は、業務システム見直しと調査・徴収強化、内部事務

部事務の一元化やアウトソーシングにより人員を調査・徴収事務へ重点的に投入する、「最適化計画」の狙いや消費税ヘシフトした税制で消費税納増加時代がくることなどを分析した。

法的武装を、と警鐘

3日目は、三木義一・立命館大学法学部教授が「今、税務訴訟で何が変わる」としているのか、本格化する訴訟社会と税務行政」と題し、租税に関する訴訟の実態、住所・国籍条項などに関する「平成18年税制改正の



岡田知弘・京都大学大学院教授



三木義一・立命館大学教授

動向」及び私的形式と租税法主義等について講演した。外国資本の流入による日本人経営者への圧力で、租税訴訟の頻発化を「いすゞ自動車」を例にあげて紹介した導入部から、外国税額控除制度を利用した租税回避を濫用とした最高裁の直近判決を分析し、税務の実践者たちが法的武装をしないと、世界的に移動できる資金は課税されず、移動できない弱者のみが税負担を負うことになる」と警鐘を鳴らし、参加者は「学習の大事さ」を再認識した。

集会は、平和や将来不安があるなかで「政府・与党が推進する07年度をメドにした消費税を含む抜本的税制改革」について、生活者の視点で税研運動を進めることを確認した。集会における貴重な講演や各種報告、討論は「06税金」として刊行される。ぜひ購読されることをお勧めしたい。

来賓（敬称略・順不同）
国公労連・浅野龍一中央執行委員、日本共産党大門実紀史参議院議員、メッセージ 全税関、全労連、不公平な税制をただす会

新春職場川柳

【各地連機関紙より】

病気で通院している調査官に対して、統括官は「口頭じゃわからんから、どんな治療をしているのか、今後の治療方針はどうで、いつまでに全快するか、報告書を出せ」と命じた。調査官は言われるまま、通院するたびに統括、健康管理責任者の総務課長、担当副署長に報告書を出していた。しかし統括官は、この調査官と一緒に何度も病院に同行し、しかもその度に、主治医と2人で長時間話し合っている。それで、「口頭じゃわからん云々」とはどういうことだ？本当に病状を心配してののだろうか。

【各地連機関紙より】

脱線事故に耐震偽装結局は命を削る「民営化」

（ネオコン万歳）

公務員時間延長に虫の息

・処遇下げ賃金下げて値打ち下げ

・申是より書類なくすな俺のため

（姫路分会）

【北海道・道中支部】

26日付け支部機関紙「コラム欄に載った統括官の「やってられないから辞めさせてもらいたい」を読んだ一統括が、組合員を呼び止めるコラムを指差し、「このとおりだ。俺の気持ちにぴったり。昔と違い今の統括に魅力がない。すべてを任せられる仕事などない。常に副署長などから細かい指示がある。これが多過ぎて困る。これでは誰も統括を希望しなくなる」との声が。

【各地連機関紙より】

「俺の気持ちにぴったり」

（姫路分会）

【各地連機関紙より】

遠方の出張つらい直帰なし（郡部署）

・おのずから無用を語る人事院（神戸分会）

・憲法を守って平和な社会築こうよ

（尼崎分会）



これで「健康」管理？

【投稿・A調査官】

病気で通院している調査官に対して、統括官は「口頭じゃわからんから、どんな治療をしているのか、今後の治療方針はどうで、いつまでに全快するか、報告書を出せ」と命じた。調査官は言われるまま、通院するたびに統括、健康管理責任者の総務課長、担当副署長に報告書を出していた。しかし統括官は、この調査官と一緒に何度も病院に同行し、しかもその度に、主治医と2人で長時間話し合っている。それで、「口頭じゃわからん云々」とはどういうことだ？本当に病状を心配してののだろうか。

上司を選べないの？

【近畿・東大阪支部】

私の不幸は今期の異動から始まった。いま私はとんでもない上司に仕えてしまったような気がする。仕事の仕方、させ方は勿論、企画、立案は元より部下の管理もできない。外国であれば転職も可能だろうが、我慢と胃薬を愛用する日本のサラリーマンはやっぱり不幸である。

（バカ殿（局長）が考え抜いた休暇取り上げ

・なくしてよし

お役御免の人事院

（KM）

・我こそは 付箋貼り

の天才（嫌われ幹部

ナンバーワン）

・来署者数

姉歯まちがい想定内

（姫路分会）

・小泉をよくよく観るとヒットラー

（仮名しずか）

詰碁

解答 黒1、3と三子にして捨てるのが好手段。白4に黒5から7で白死です。黒1でイは白1黒7白6黒3白5でセキ。黒1で3も白1以下セキになり、失敗です。

